

JACE 創立 30 周年ステートメント

イベントの持つライブな魅力が求められる時代。

JACE は、多種多様な広がりを見せるイベント業界の進むべき方向を見定め、その健全な発展を牽引するアクティベーターとなります。

2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年オリンピック・パラリンピック、2021 年ワールドマスターズゲームズ、そして、2025 年 大阪万博。日本は、この数年の間に、かつて経験したことがないような大型イベントの時代を迎えます。

大型イベントに限らず、イベントは、従来の企業マーケティング活動にとどまらず、自治体の地域活性化、インバウンド対策、顧客とのエンゲージメント施策など、様々な目的に活用されるようになり、その手法も展示会、博覧会から、コンベンション、フェス等々へと拡張してまいりました。先端テクノロジーを操るトップクリエイターの参入により、演出面も大幅に進化。若年層からの注目も集まり、イベントは今、大きな変革期を迎えています。このようにイベントのビジネススケール、社会的影響力、コミュニケーション手段としての効果、等々世の中のイベントを取り巻く環境は劇的に変化し、その価値を改めて発信する絶好の機会が到来します。

この潮流の変化を見据え、イベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性という特長、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点に立ち返り、JACE としては 30 周年に相応しい以下の活動を行ってまいりたいと思います。

1. イベントおよびイベント産業全体の客観的分析

イベント実施の目的・手法の多様化、プレイヤーや裾野の拡大という現状を踏まえ、イベント産業の将来像や課題を明らかにするために、イベントの定義、領域分析、市場規模把握などを通じて、イベント産業の全体像を俯瞰していきます。

2. 他業態・他業種との連携の促進

イベント産業の活性化のために、イベントに関連する企画から施工・運営実施などの垂直連携、イベントを取り巻くメディア、MICE、観光業、音楽フェスなどの水平連携の縦横 2 方向での連携をリードしていきます。

3. イベント産業の人材の獲得・育成

これからのイベント産業を支える優秀な人材の獲得のために、イベントの持つ魅力・将来性などを積極的に発信していきます。また、イベントの品質と生産性の向上に向けて、資格制度の見直しを中心にイベント人材の企画力から実施力までの能力向上を図ります。

4. イベントのコンプライアンスの確保

誰もが気軽にイベントを企画できる現状を踏まえて、イベントの安全・安心を確保することも JACE の重要な役割と考えます。行政などの関係各所との連携・調整を密にして、イベント実施においてどのようにコンプライアンスを確保するか検討していきます。